

スノーシェッドに関する
調査表記入マニュアル

[D060] スノーシェッド基本

この調査表は、スノーシェッドの諸元で主要な（形式、延長、断面、線形、幅員等）データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 路線毎とする。
- スノーシェッド箇所毎とする。
- 構造形式毎とする。

(2) スノーシェッドに関する写真・図面類については「D061スノーシェッド図面類」にて作成する。

(3) スノーシェッドに関する補修履歴については「D062スノーシェッド補修歴」にて作成する。

(4) スノーシェッド内の占用物件については「D063スノーシェッド占用物」にて作成する。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

(J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、
§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 名称

該当するスノーシェッドの名称を、10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字）で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標自 (km)

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 距離自 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(T) 距離至 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(W) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{array}{c} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3:昭和)} \end{array}$

(X) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{array}{c} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4:平成)} \end{array}$

(Y) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(AA) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AB) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AP) 延長 (m) : ◆

スノーシェットの延長（道路中心線上の延長）を、小数点以下1位まで記入する。

(CX) 備考1

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(CY) 備考2

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(CZ) 市区町村自 C : ◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(DB) 市区町村至 C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

[D062] スノーシェッド補修歴

この調査表は、スノーシェッドの補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「D060スノーシェッド基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編) §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
舗装		山側受台（躯体）	
全面 打替え	1 0 1	補強	3 0 1
全面 オーバーレイ	1 0 2	修復	3 0 2
部分 打替え	1 0 3	その他	3 4 9
部分 オーバーレイ	1 0 4	山側受台（基礎）	
その他	1 4 9	補強	3 5 1
照明設備		修復	3 5 2
取替え	1 5 1	その他	3 9 9
部分修復	1 5 2	谷側受台（躯体）	
その他	1 5 3	補強	4 0 1
排水設備		修復	4 0 2
取替え	2 0 1	その他	4 4 9
部分修復	2 0 2	谷側受台（基礎）	
その他	2 4 9	補強	4 5 1
塗装全面塗替え	2 5 1	修復	4 5 2
部分塗替え	2 5 2	その他	4 9 9
		屋根部	
		桁の取替え	5 0 1
		補強	5 0 2
		屋根材の取替え	5 0 3
		補強	5 0 4
		その他	5 4 9
		その他	9 9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

[D063] スノーシェッド占有物

この調査表は、スノーシェッド内の占有物件に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「D060スノーシェッド基本」の作成単位毎とする。
- 占有物件毎とする。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (G-1) 現旧区分
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 占有物件種別C

占有物件種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
上 水 道	1 1	ガ ス	1 7
工 業 用 水 道	1 2	道 路 情 報 板	1 8
農 業 用 水	1 3	道 路 標 識	1 9

区 分	コード	区 分	コード
下 水 道	1 4	通信ケーブル等	5 3
電 力	1 5	I・T・V	5 4
電 話	1 6	そ の 他	9 9

(R) 寸法

- ・ 電力及び電話については、条数と段数を記入する。
- ・ 道路情報板・道路標識及びI T Vの場合は‘*’を記入する。
- ・ これら以外については公称径（φ）をmm単位で記入する。

（記入例－1） 「上水道 φ200」の場合 ——> 2 0 0

（記入例－2） 「電力 3条5段」の場合 ——> 0 3 0 5

(S) 管理者名

占有物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D060：スノーシェッド（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
上り下り区分C	半角1文字			○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
延長	9999.9	m	○	○
備考1	全角50文字			○
備考2	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D062：スノーシェッド（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角3文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D063：スノーシェッド（占用物）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
占用物件種別C	半角2文字			○
寸法	9999			○
管理者名	全角10文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照